

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 299 号	氏名	森永 芳智
学位審査委員	主 査	西田 教行	
	副 査	森内 浩幸	
	副 査	由井 克之	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、肺炎クラミジア菌体成分が気道粘膜上皮細胞を刺激し粘液分泌過剰反応を引き起こす機序と、それをマクロライド系抗菌剤が抑制する作用機序を解明し、重症気管支喘息の治療におけるマクロライド系抗菌剤の有用性を分子レベルで明らかにしようとするもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 粘液産生性ヒト気道上皮細胞を用いて、肺炎クラミジアエレメンタルボディによる Ex vivo 刺激後のムチン (MUC5AC) 産生検出系および細胞内シグナル伝達系因子の活性化を定量的に評価するモデル実験系を確立し、マクロライド系薬剤のムチン産生阻害効果を定量的に評価しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、肺炎クラミジア菌体成分が気道上皮細胞の MUC5AC 産生を亢進すること、NF-κB 活性化を介すること、マクロライド系薬剤が MUC5AC 産生阻害効果を示すこと明らかにし、今後の重症気管支喘息の治療研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は呼吸器感染症研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			